

## 放射線科（診断部門・治療部門）

## 1. スタッフ（平成26年4月1日現在）

## 診断部門

科 長（教 授）	杉本 英治
外来医長（助 教）	木村有喜男
医 員（講 師）	藤田 晃史（海外留学中）
	篠崎 健史
病院助教	大竹 悠子
病院助教	中田 和佳
病院助教	木島 茂喜
シニアレジデント	15名

## IVR部門

シニアレジデント 2名（兼務）

## 治療部門

科 長（教 授）	仲澤 聖則
医 員（講 師）	大森 義男
	（さいたま医療センター併任）
病院助教	角田 秀和
シニアレジデント	2名

## 2. 診療科の特徴

日本医学放射線学会 専門医総合修練機関

日本核医学会 専門医教育機関

日本IVR学会 専門医修練機関

日本医学放射線学会専門医	18名
	（常勤医のみ、小児部門は除く）
日本放射線腫瘍学会認定医	3名（常勤医のみ）
日本核医学会専門医	4名
日本IVR専門医	1名
検診マンモグラフィ読影認定医	9名
核医学研修指導医	1名
PET核医学認定医	2名
臨床研修指導医	2名
日本内科学会内科認定医	4名
がん認定機構暫定教育医	2名（常勤医）
	1名（非常勤医）
がん認定機構認定医	4名（常勤医）
	2名（非常勤医）

## 3. クリニカルインディケーター

## 診断部門

## CT検査件数

	総数	CT colonography	心臓CT(成人)	心臓CT(小児)
2013	42846	220	224	105
2012	42721	243	274	
2011	41475	232	270	
2010	41076	252	316	
2009	38717			
2008	37862			

## MRI

	MRI
2013	16924
2012	15157
2011	13308
2010	13805
2009	14038
2008	13475

読影率：前年度（15157件）比で12%増加

## 単純X線写真（胸部）（小児関係は除く）

	読影依頼件数 （前年比%）	胸部単純写真 件数	全単純写真 件数
2013	2125 (119)	91245	181701
2012	1789 (114)	92277	185225
2011	1574 (115)	62619	142912
2010	1370 (128)		
2009	1067 (138)		
2008	773 ( )		

読影率：2.3%、読影依頼：100%読影、依頼から2開院  
日以内

## マンモグラフィ

	マンモグラフィ	マンモトーム	フックワイヤー	MRIガイド下生検
2013	2579	8	1	2
2012	2490	15	5	
2011	2506	25	5	
2010	2420	23	3	
2009	2400	8	7	
2008	2781	15	7	

読影率：98%

核医学

核医学 (PET/CTと小児検査を除く)

	全検査	骨	脳	心臓	ほか☆	リンパ節*
2013	2932 (91)	765 (87)	433 (85)	565 (82)	953 (100)	216 (108)
2012	3221 (97)	876 (90)	508 (95)	687 (99)	950 (103)	200 (106)
2011	3308 (99)	976 (107)	532 (92)	692 (88)	919 (103)	189 (111)
2010	3350 (107)	916 (80)	581 (110)	789 (140)	893 (108)	171 (98)
2009	3132 (97)	1041 (97)	526 (105)	565 (107)	825 (88)	175 (85)
2008	3245	1074	503	527	935	206

\*：センチネルリンパ節シンチグラム

カッコ内は前年比 (%)

核医学検査は原則検査当日に読影。読影率100%

	全核医学治療件数 (前年比%)	甲状腺 (うちアブレーション*)	骨疼痛緩和
2013	164 (158)	154 (34)	10
2012	104 (141)	83 (18)	21
2011	74 (104)	52 (2)	22
2010	71 (131)	63	8
2009	54 (81)	52	2
2008	67 (---)	66	1

\*甲状腺アブレーション治療は2011年から導入

FDG-PET/CT カッコ内は前年比 (%)

	全検査数	健診センター	病診連携
2013	1771 (104)	70 (146)	169 (114)
2012	1704 (97)	48 (76)	148 (101)
2011	1754 (105)	63 (98)	147 (136)
2010	1672 (120)	64 (149)	108 (150)
2009	1390 (128)	43 (108)	72 (277)
2008	1089 (---)	40 (---)	26 (---)

読影率は100%

病診連携 カッコ内は前年比 (%)

	CT	MRI	核医学	FDG-PET/CT
2013	139 (78)	73 (143)	250 (83)	169 (114)
2012	178 (127)	51 (88)	301 (86)	148 (101)
2011	140 (99)	58 (84)	348 (126)	147 (136)
2010	142 (130)	69 (100)	277 (87)	108 (150)
2009	109 (130)	69 (128)	320 (122)	72 (277)
2008	84	54	263	26

検査施行日から3開院日以内に全例読影レポートを作成。

読影率は100%

放射線IVR部門

	2012	2013
肝細胞癌に対する肝動脈塞栓術、動注療法	268	251
外傷、消化管出血、腫瘍破裂、周産期出血、喀血等の動脈性出血、仮性動脈瘤の止血緊急TAE	83	121
生体肝移植後脈管狭窄(門脈、肝動脈、肝静脈)のPTA or ステンント留置術	14	18
BRTO	12	14
術前動脈塞栓術、バルーンリング	7	
腎、脾動脈瘤塞栓術	4	
部分的脾動脈塞栓術	3	
肺動静脈奇形塞栓術	1	
経皮経肝的門脈塞栓術	1	9
リザーバ留置術	1	1
大動脈瘤ステントグラフト留置術後エンドリーク閉鎖術	2	
その他動脈塞栓術	2	18
急性膵炎カテーテル留置	6	5
上腸間膜動脈血栓症に対する緊急IVR	6	
診断的血管造影	16	29
生検、ドレナージ	40	24
ポート埋め込み術		39
合計	466	529

※勤務時間内外急患症例 162件 (全体の30.6%)

心臓血管外科と共同施行

	2012	2013
大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術	85 (腹部69、胸部16)	EVAR (追加EVAR含む) 46 TEVAR (追加TEVAR含む) 13
腸骨動脈領域のコイル塞栓術	29	
血管形成術	9	
ハイブリッド治療(血管外科手術+血管内治療同時)		5
EVAR、TEVAR付追加処置		9
合計		73

カンファレンス

診断部門

放射線科画像カンファレンス

放射線科読影室カンファレンス 週日 午後5時～

放射線科画像カンファレンス

毎週金曜日 午後11時30分～

画像病理カンファレンス

放射線・病理カンファレンス

毎週金曜日 午後5時～

骨軟部画像・病理カンファレンス

第3火曜日 午後6時～

臨床科カンファレンス

脳神経外科カンファレンス 毎週火曜日 午前8時～

耳鼻科カンファレンス 毎週水曜日 午後5時30分～  
 同術後症例カンファレンス 毎週木曜日 午前8時～  
 歯科口腔外科画像カンファレンス

毎週木曜日 午後6時～  
 整形外科症例検討会 毎週木曜日 午後5時～  
 呼吸器疾患カンファレンス 毎週火曜日 午前8時～  
 乳腺外科カンファレンス 毎週火曜日 午後6時～  
 消化器外科カンファレンス 週日 午前7時45分～  
 大腸カンファレンス 毎週木曜日 午後7時30分～  
 肝臓カンファレンス

不定期（2ヶ月1回程度 月曜日）

放射線科・総合診療部画像カンファレンス  
 毎週金曜日 午後3時～  
 放射線科・移植外科カンファレンス  
 月1回金曜日 午後1時～

IVRカンファレンス 毎週水曜日 午後5時～  
 獨協医科大学放射線科とのIVR合同カンファレンス  
 月1回、月曜日 午後7時～

#### 治療関連カンファレンス

放射線治療計画全体検討会  
 毎週木曜日 午後1時30分～  
 口腔外科－放射線治療カンファレンス  
 隔週月曜日 午後5時15分～  
 耳鼻科腫瘍放射線治療カンファレンス  
 毎週月曜日 午後6時～  
 Xナイフ検討会 毎週火曜日 午後5時30分～  
 放射線治療抄読会 毎週木曜日 13時  
 検証写真と線量分布検討会  
 毎週火曜、金曜 朝8時30分～

#### 放射線治療部門

放射線治療：

診療業績

新患治療計画数	810名
再診患者の治療計画数	331名
治療計画数の合計	1139名
のべ治療患者件数	27619件
小線源治療：53名	
腔内照射	53名、のべ147件
組織内照射	0名、のべ0件
全身照射：32名	
定位放射線照射：合計	51名
脳	36名（脳動静脈血管奇形、 脳腫瘍の一部、転移性脳腫瘍）
体幹部	15名
強度変調放射線治療：60名、のべ1505件	

#### 4. 事業計画・来年の目標

##### 診断部門

放射線科専門医育成  
 先進的検査装置の有効利用  
 WSとViewer統合による読影環境の改善

##### IVR部門

24時間、年中無休のIVR専門医によるIVR対応体制の構築と維持

##### 治療部門

強度変調治療（IMRT）をvolume-modulated arc therapy（VMAT）に転換する  
 頭頸部、脳腫瘍に対する強度変調治療の応用